

河合町学校再編検討委員会

第3回 会議録

令和8年3月27日 / 午後1時30分-2時30分 / 町立公民館 研修室C

参加者

大西教授（奈良大学）、PTA会長（2小）、小中学校長（河野第一中学校長、松村第二小学校長）、教育委員（山川）

事務局： 上村教育長、中尾教育振興部長、川村教育振興部総務課長ほか

欠席者（委任状提出）

佐藤副町長

議事内容

(1) 開会・挨拶

- 大西副会長より「これまでの議論を凝縮した提言書案を最終精査し、町へ提出できる形に仕上げたい」との挨拶がなされた。

(2) 議題：学校再編提言書（案）の議論・精査

事務局より、配布資料「河合町学校再編提言書（案）」の構成に沿って、内容の要約説明が行われた。

- **提言書案の概要（要約）：**
 1. **現状と課題：**少子化による小規模化の弊害および築40～60年が経過した施設老朽化への強い危機感を明記。
 2. **基本方向：**中1ギャップ解消を目指す「小中一貫教育」を推進。組織を分けたまま連携する「小中一貫校」かつ「施設一体型」を目指す。
 3. **再編形態：**施設一体型小中一貫校による「2校体制」を基本方針とする。
 4. **配慮事項：**防災拠点・地域コミュニティとしての学校の役割を重視し、通学の安全対策を盛り込む。

(3) 項目別による自由討議・精査

提言書案の各項目について、委員間で活発な討議が行われた。

- **提言書提出の仕方について**
 - **委員**：提言は提言書のみでの提出によって行うか。それ以外の提出はあるか。
 - **事務局**：教育委員会へは提言書のみでの提出によって行う。なお、教育委員会で方針が決定された後、総合教育会議等の然るべき各諮問機関へは、その他参考資料も提出し速やかに実施設計等のスケジュールを策定する予定。
- **校区ごと統合への言及について**
 - **委員**：財政面や住民への周知を考えると、全校一斉ではなく「校区を維持した統合」を選択したことについて明記すべき。
 - **事務局**：時期を分けた二段階の工程を明記する。緊急性の高い第一小中校区を先導的な役割の統合とし、その後第二小中校区へ段階的に進める方針を追記する。
- **地域避難所やコミュニティのあり方について**
 - **委員**：現状では老朽化や財政面もあって、避難所やコミュニティとして不足している点も多く、それらをカバーすべき。
 - **事務局**：あくまで提言書は今後の大枠を示す最低限度の内容に留めている。段階を経て計画を精査し深める。
- **子どもたち一人ひとりに対応する柔軟性への言及**
 - **委員**：学習指導要領改訂等による教育課程の変化や、多様な子どもたちに広く対応する柔軟性を持たせるべき。
 - **事務局**：単なる「一貫教育」という言葉にとどまらず、「個別最適」という現代的な教育課題を明記するとともに、「柔軟な教育空間」という表現を追加し、将来的な教育内容の変化への対応力を補記する。
- **提言書案の文言修正**
 - 各委員より、住民に誤解を与えないための表現の適正化に関する追記の提案があり、事務局にて最終調整を行うことで合意した。

(4) 今後のスケジュールについて

事務局より今後の流れについて説明。

- 本日の議論を反映させた「最終案」を事務局で作成。
- 年度内に委員へ最終確認を行い、教育長へ提言書を提出。
- 新年度以降、この提言を基に町としての正式な再編計画を策定し、保護者・住民説明会を順次開催していく。

(5) 閉会

事務局より、全3回にわたる検討委員会への協力に対する謝辞があり、閉会した。